

平成25年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 楠見中 学校
校長氏名	宮本 昌昭
作成日	平成 26 年 2 月 17 日

1 教育目標

学校教育目標

たがいに温かく 自己にはきびしく
進んで 知を磨き 心を養い 体を鍛えていく たくましい生徒を育てる

2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の情報を積極的に発信するように努め、地域の行事に積極的に参加する。 ○保護者と共に校内の環境を整える作業を計画し共に協働しながら信頼関係をさらに強化する。 ○連合自治会や地域の関係機関との連携を密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○規範意識を高める道徳教育を進め生徒指導の充実を図る。 ○人権・同和教育を推進し、人権意識を高める。 ○不登校生等へのきめ細かな対応を図る。 ○体験活動の充実を図る。 ○生徒・保護者との人間関係づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習規律を確立する。 ○基礎基本の確実な定着を図る。 ○よくわかり意欲を高める授業を創造する。 ○家庭学習の在り方等について指導を充実させる。 ○キャリア教育を推進し、将来への展望を持って進路選択ができるようにする。 ○特別支援教育を充実させる。
取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の防災訓練や文化の祭り等の行事に参加出来た。 ○学校のホームページを定期的に更新したりして、積極的に学校の教育活動を地域の人に知らせた。 ○地域の年間計画になっている日曜日開催の体育祭を継続する事が出来た。 ○自治会など地域の各種団体の会議に参加し、交流が持てた。 ○3小学校へ出向き、生徒会役員で防犯紙芝居を実施し意識が向上が図れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○心に響く指導を心がけ、言葉の重みを大切にしたい取組により人権・同和教育を推進する。 ○関係機関と連携を深め、不登校解消に向けて積極的に取り組む。また、家庭との連携を取り、配慮しながら粘り強い指導を実施するとともにスクールカウンセラーとも連携を図り、指導方法や状況について情報交換が行えた。 ○生徒の情報交換を積極的に行い、全教職員共通理解のもとで取り組みを進める事が出来た。 ○休憩時間や昼食時等、生徒との会話を大切にしたい交流が解が図れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○チャイムと共に教職員が行動し、生徒に授業に取り組む姿勢を身に付けさせる努力を続けている。 ○プリントを活用し「朝の読書」「朝学」やテスト前の「補習」、「基礎学講座」等のを行っている。 ○生徒の学習意欲を高める授業の改善に取り組む。 ○職場体験、職業調べ等を充実させ進路選択の充実を図る。 ○特別支援学級については、個別の指導計画をしっかりと作り、指導の一貫性を図るとともに情報の共有化を進める。
取組の結果と課題【C】	<p>学校行事に保護者や地域の方々の参観してもらう継続的な取り組みが必要で、学校・家庭・地域の距離感をさらに縮め深めたい。また地域行事に参加中の会話で出る様々な情報や、関係機関の方々の意見も大変参考になった。</p>	<p>地域や関係機関との懇談会では、生徒の健全育成について参考となる意見をいただき、大変有意義であった。また、こども総合支援センター、SC、SSWとの連携は、教職員の意識改革にも繋がり、問題行動の減少やいじめ・不登校の解消に向けて動き出している。</p>	<p>基礎学力向上のため、本年度から取り入れたプリントの活用を、朝学・基礎学力講座・単元終了時の確認等を実施することにより、生徒の学力向上に一定の成果があったと感じている。また、生徒の学ぶ意欲を高めるため、わかりやすい授業を展開する授業改善を進める必要がある。</p>
改善方法【A】	<p>今後も生徒の健やかな成長を願い、学校と家庭、地域がさらに連帯感を深めることが大切である。地域との交流を進め、「楠見はひとつ」を合言葉にそれに向かって教職員がもっと地域に出て行くよう心掛けたい。</p>	<p>あらゆる学校生活の場面において、生徒一人ひとりに目を向けきめ細かな対応を心がけ、生徒との関わり合いを大切にしたい教育を推し、人権教育をさらに充実させていきたいと考えている。</p>	<p>基礎学力の定着を図るため、落ち着いた環境での学習体制の構築や生徒の学ぶ意欲を高める授業の創造に取り組む必要がある。また、校内研修で相互に授業参観の機会を設けていきたい。</p>

3 その他の課題

情報端末の過度な使用により、学校だけでは解決できない課題も多く、関係機関や学校、家庭、地域が連携し、地域ぐるみで子どもを育てていかなくてはならないと感じている。学力の向上に向けては、家庭学習の重要性を各家庭に発信していきたい。また、授業改善に向けて、校内研修の充実を進めたいと考えている。

